

2026年3月期 第3四半期決算説明資料

第3四半期決算の概要（連結）
通期の業績見通し
中長期的な企業価値の向上に向けて

1) エグゼクティブサマリー

3Q累計実績

増収減益 前年同期比 売上高 + 3.5% (国内△0.9%、海外+11.3%)
営業利益 △16.5%

■ 売上高

- 国内： 3Q会計で、想定よりも医療機器の設備投資に慎重な動きが見られたことから、官公立病院を中心に前年同期を下回る。AEDも代理店での在庫調整により減収
海外： 北米、欧州、アジア州他で好調に推移し、二桁成長。
為替・アドテック社連結の影響を除いても好調に推移

■ 営業利益： 国内での減収に加え、賃上げ対応、研究開発投資等により販管費が増加したことから、減益

■ 純利益： 早期割増退職金等24億円を特別損失に計上

通期見通し

■ 売上高 2,350億円 (前回予想から△50億円)

- 国内： 前回予想から△50億円下方修正。引き続き消耗品・サービス事業、年度末に向けたITシステム商談の納品・設置に注力し、4Q会計で前年同期並みの売上確保を目指す
海外： 円ベースでは前回予想を据え置き。実質ベースでは北米、アジア州他で前回予想を下回る見込み

■ 営業利益 200億円 (前回予想から△40億円)

- 売上高、粗利率が前回予想を下回る見込みのため、下方修正。
4Q会計で、自社品販売に注力し、粗利率52%台の確保、販管費の伸びの抑制に努める

2) 決算概要

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計	増減率 (%)
売上高	158,476	164,013	3.5
国内売上高	101,153	100,192	- 0.9
海外売上高	57,323	63,820	11.3
売上総利益 (売上総利益率)	82,431 52.0%	85,086 51.9%	3.2
販管費 (販管費率)	71,496 45.1%	75,952 46.3%	6.2
営業利益 (営業利益率)	10,935 6.9%	9,134 5.6%	- 16.5
経常利益	13,506	11,882	- 12.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,137	6,408	- 21.2

平均レート(円)
1米ドル/1ユーロ

152.0/164.7 148.6/170.9

→ 為替影響除く：+13%
為替・アドテック社連結の
影響除く：+7%

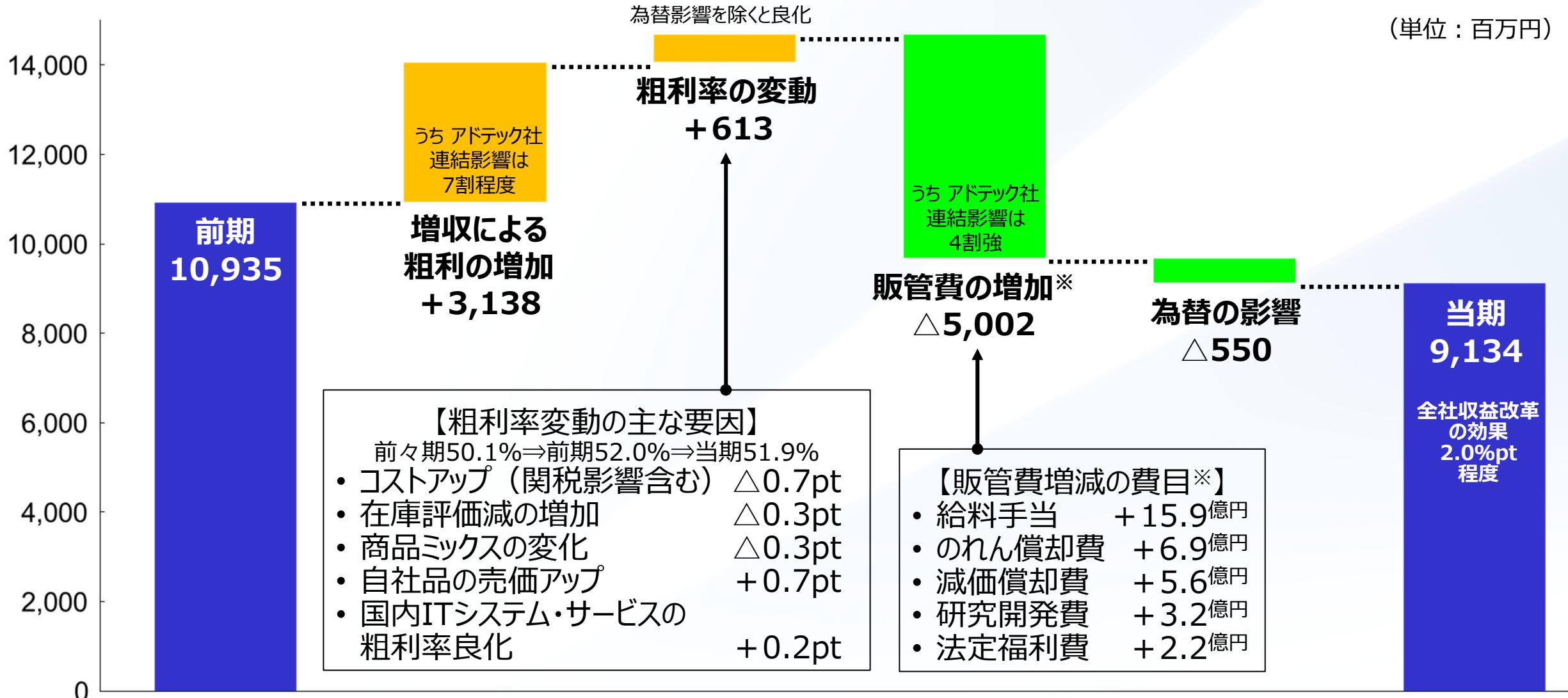
→ 為替差益：20億円 → 24億円

→ 特別損失：
早期割増退職金等24億円

	2025/3 3Q	2026/3 3Q	増減率 (%)
	55,692	55,892	0.4
	34,909	33,312	- 4.6
	20,782	22,580	8.7
	30,525	28,287	- 7.3
	54.8%	50.6%	
	24,704	25,895	4.8
	44.3%	46.3%	
	5,820	2,392	- 58.9
	10.5%	4.3%	
	11,366	5,150	- 54.7
	7,674	1,884	- 75.4

149.4/162.0 152.2/178.1

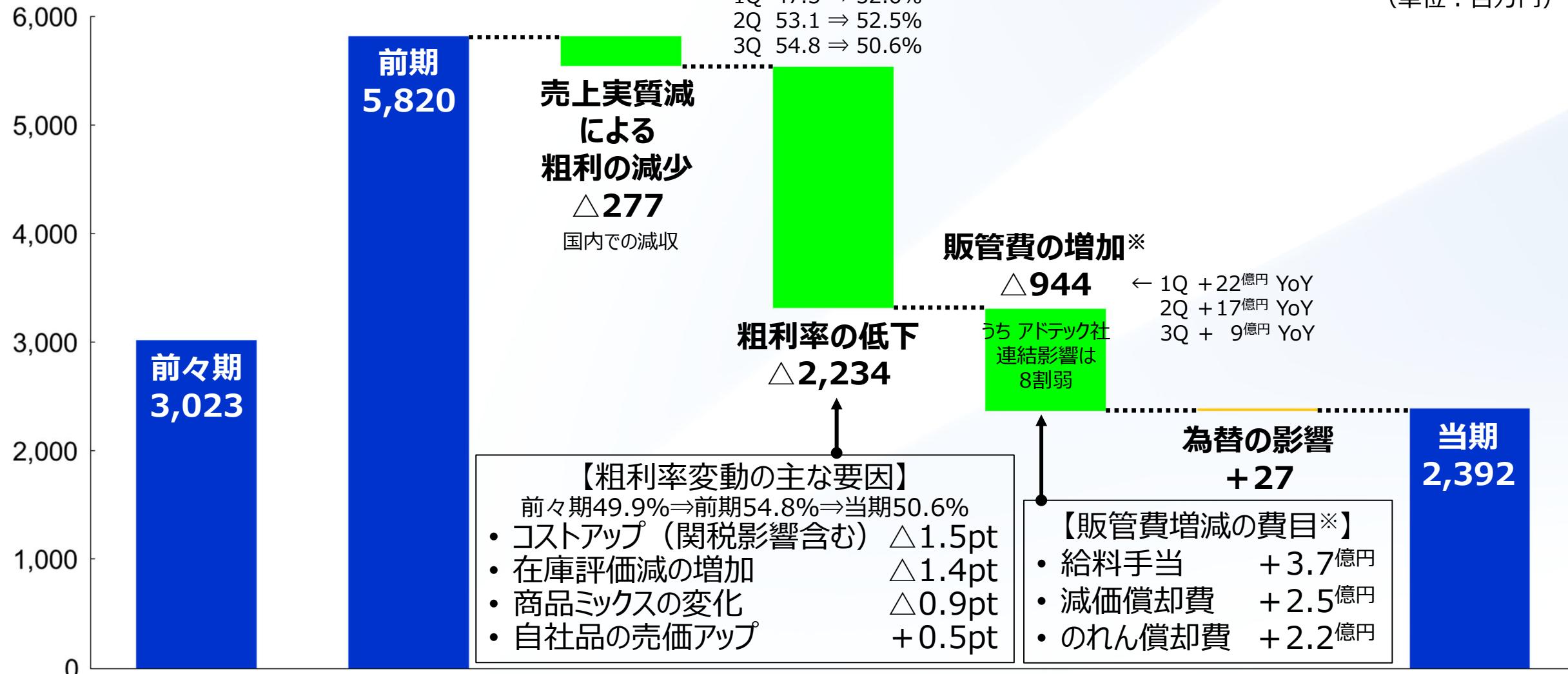
3.1) 営業利益増減の要因分析（3Q累計）



※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

3.2) 営業利益増減の要因分析（3Q会計）

(単位：百万円)

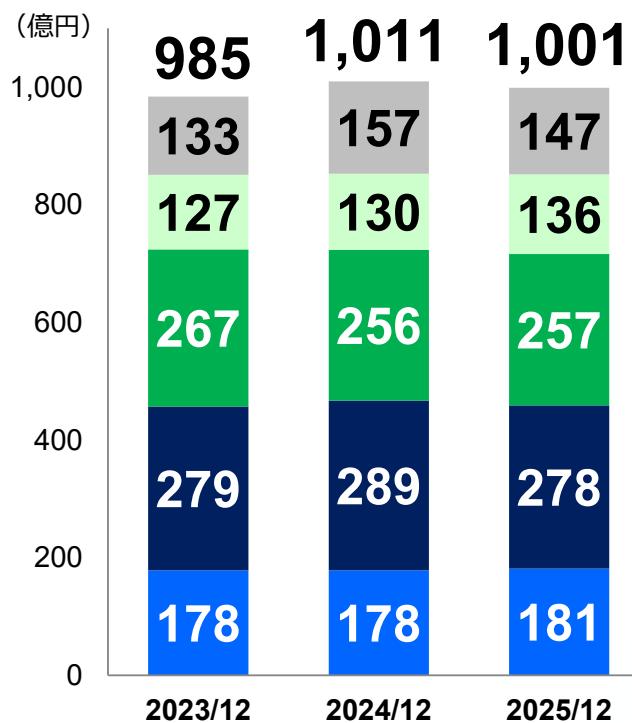


※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

4) 国内売上高

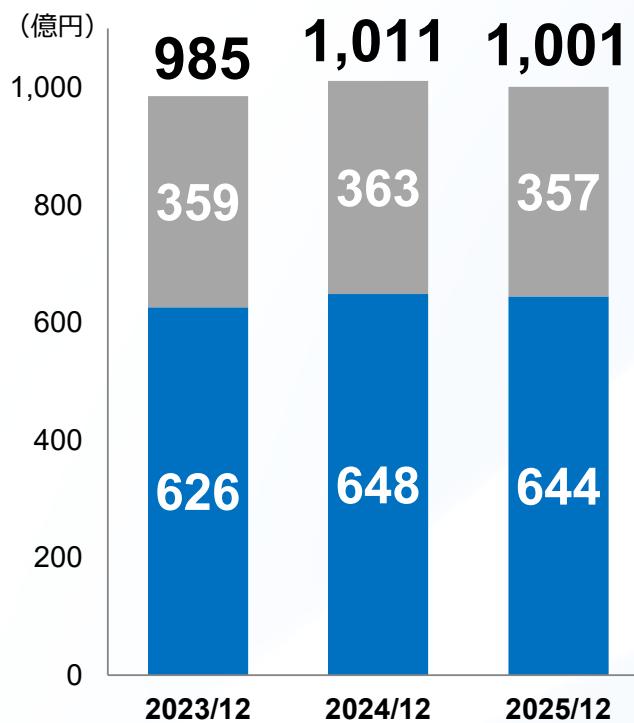
【市場別売上高】

■大学 ■官公立病院 ■私立病院 ■診療所 ■その他



【自社品/他社品売上高】

■自社品 ■他社品



【商品群別売上高】

(単位：百万円)

	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計	増減率 (%)
生体計測機器	25,383	26,123	2.9
生体情報モニタ	32,087	30,695	-4.3
治療機器	22,375	21,239	-5.1
その他	21,306	22,134	3.9
売上高合計	101,153	100,192	-0.9

(参考)

医療機器	38,735	35,757	-7.7
消耗品・サービス	62,417	64,435	3.2

【市場別】 官公立病院市場で減収。PAD市場でのAEDの販売は代理店での在庫調整により減少。大学、私立病院、診療所市場は堅調に推移

【商品群別】 **自社品/他社品：**他社品は、現地仕入品、アブレーションカテーテルが減収。自社品は、医療機器が減収、消耗品・サービスは堅調に推移

生体計測機器：心臓カテーテル検査装置群が好調に推移。脳神経系群、診断情報システムも堅調。心電計群は前年同期を下回る

生体情報モニタ：前年同期に好調だった医用テレメータ、送信機が減収。ベッドサイドモニタは堅調に推移

治療機器：アブレーションカテーテルに加え、人工呼吸器、AEDが前年同期を下回る

その他：医療機器の設置工事・保守サービス、検体検査装置・試薬が好調に推移。現地仕入品は減収

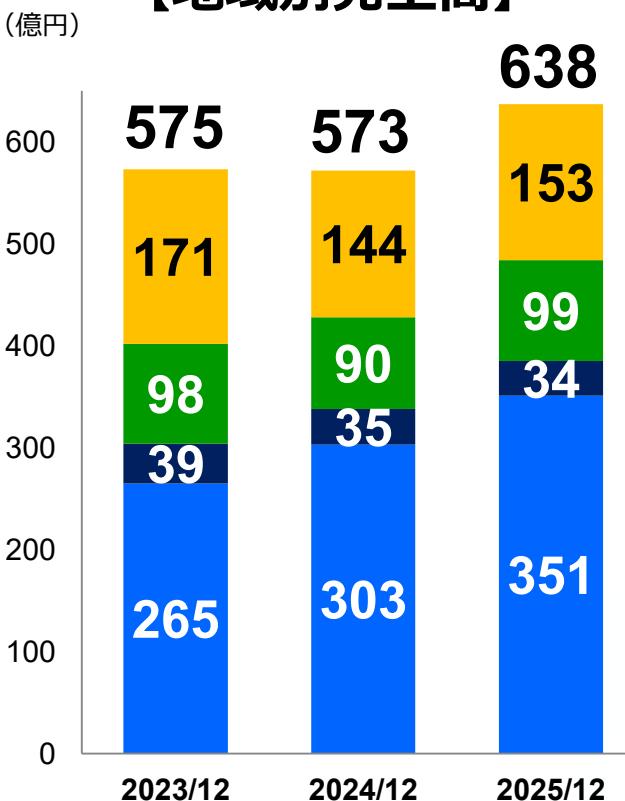
5) 海外売上高

【海外売上高】前年同期比 +11%

(為替影響除く : +13%)

(為替・アドテック社連結の影響除く : +7%)

【地域別売上高】



	前年同期比	為替影響除く
アジア州他	+6%	+10%
欧州	+10%	+8%
中南米	△5%	△0%
北米	+16%	+18%

【海外売上高比率】

年次	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計
	36.2%	38.9%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計	増減率 (%)	為替影響 除く (%)
生体計測機器	7,569	12,443	64.4	67
生体情報モニタ	28,491	26,848	-5.8	-4
治療機器	15,162	18,762	23.7	26
その他	6,099	5,766	-5.5	-3
売上高合計	57,323	63,820	11.3	13

(参考)

医療機器	38,311	39,919	4.2	7
消耗品・サービス	19,012	23,901	25.7	26

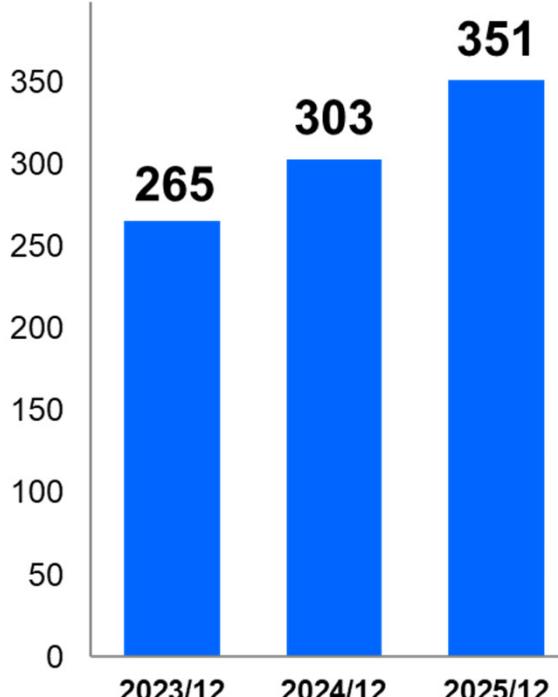
【地域別】 北米、欧州、アジア州他で好調に推移し、二桁成長。為替・アドテック社連結の影響を除いても好調に推移

【商品群別】 生体計測機器はアドテック社を含む脳神経系群がけん引し大幅增收。治療機器は人工呼吸器が大幅增收、AEDも二桁成長。生体情報モニタは、アジア州他で二桁成長も、北米、欧州を中心に好調だった前年同期を下回る

5.1) 北米

- 円ベース、現地通貨ベースともに二桁成長、
為替・アドテック社連結の影響を除いても一桁後半の增收で好調に推移
- 生体計測機器、治療機器が大幅增收。生体情報モニタは二桁成長と好調だった前年同期を下回る

前年同期比 + 16%
(為替影響除く + 18%)
(億円)



【商品群別】

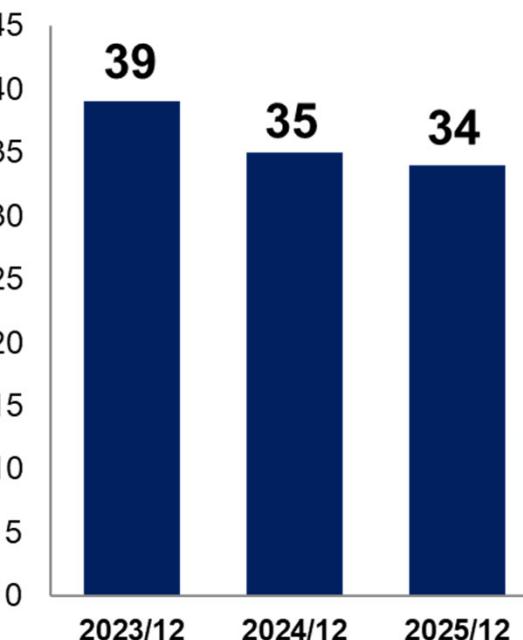
※ 為替影響を除く増減率

- **生体計測機器 :** + 100%超
為替・アドテック社連結の影響を除いても二桁成長
在宅睡眠記録装置が大幅增收
- **生体情報モニタ :** △1桁後半
上期に続き3Q会計でも、二桁成長と好調だった前年同期を下回る。
商談決定プロセスに慎重な動き。センサ類など消耗品は好調に推移
- **治療機器 :** + 30%台後半
人工呼吸器、AEDともに大幅增收。人工呼吸器はマスク型に加え、
気管挿管型も好調に推移。AEDも市場シェア拡大

5. 2) 中南米

- 3Q累計：メキシコを中心に減収
- 3Q会計：パラグアイでの大口商談の受注が寄与し、円ベース、現地通貨ベースともに増収

前年同期比△5%
(為替影響除く△0%)
(億円)

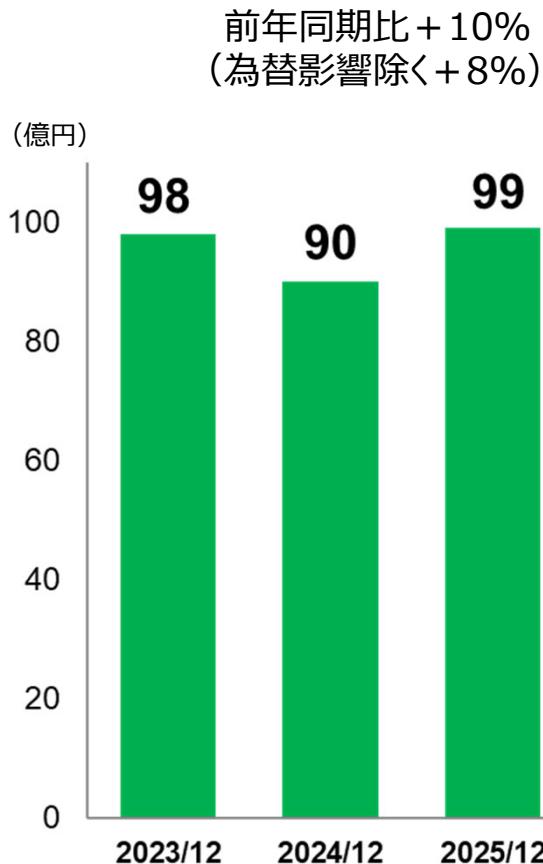


【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

- **生体計測機器：** △10%台半ば
脳神経系群が前年同期を下回る。心電計群は好調に推移
- **生体情報モニタ：** △10%台半ば
メキシコを中心に減収
- **治療機器：** +20%台前半
パラグアイでの大口商談を受注した人工呼吸器が大幅増収。
AEDも二桁成長
- **その他：** +1桁半ば
メキシコでの医療機器の保守サービスが伸長

5.3) 欧州

- 3Q累計：イタリア、トルコ、オランダを中心に好調に推移

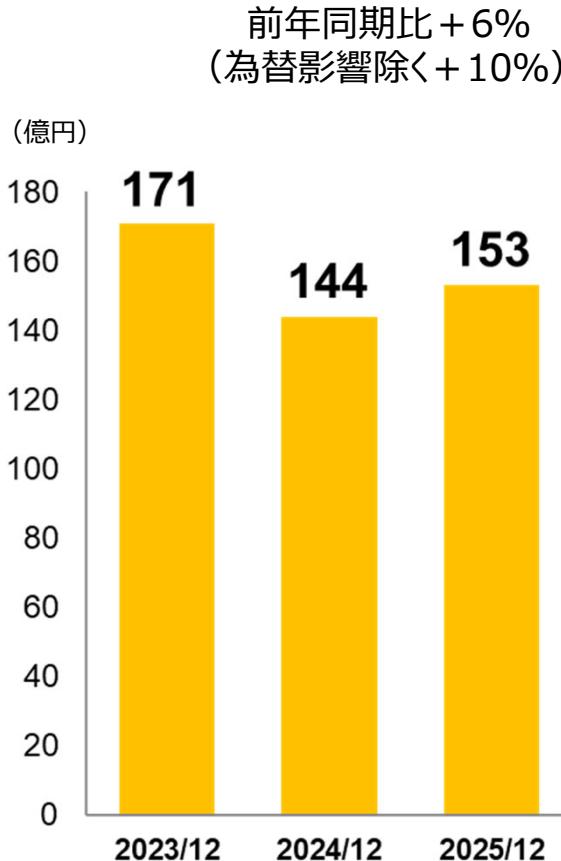


【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

- **生体計測機器：** + 20%台半ば
脳神経系群がアドテック社連結の影響を除いても好調に推移
- **生体情報モニタ：** △1桁半ば
ドイツを中心に減収
- **治療機器：** + 20%台後半
人工呼吸器、除細動器が大幅増収、AEDも二桁成長
- **その他：** △10%台後半
検体検査装置・試薬が減収

5.4) アジア州他

- 3Q累計：東南アジア（タイ、ベトナム）、中近東・アフリカ（モロッコ、南アフリカ）で好調に推移
- 3Q会計：法規制対応の遅れもあり、前年同期を下回る



【商品群別】 ※ 為替影響を除く増減率

- **生体計測機器：** +10%台後半
脳神経系群、心電計群ともに好調に推移
- **生体情報モニタ：** +20%台前半
モロッコで大口商談を獲得、東南アジア、インドで好調に推移
- **治療機器：** +1桁後半
除細動器が好調に推移、AEDも堅調
- **その他：** △1桁半ば
検体検査装置が減収、試薬は好調に推移

[参考] 商品群別売上高・粗利率

(単位：百万円)

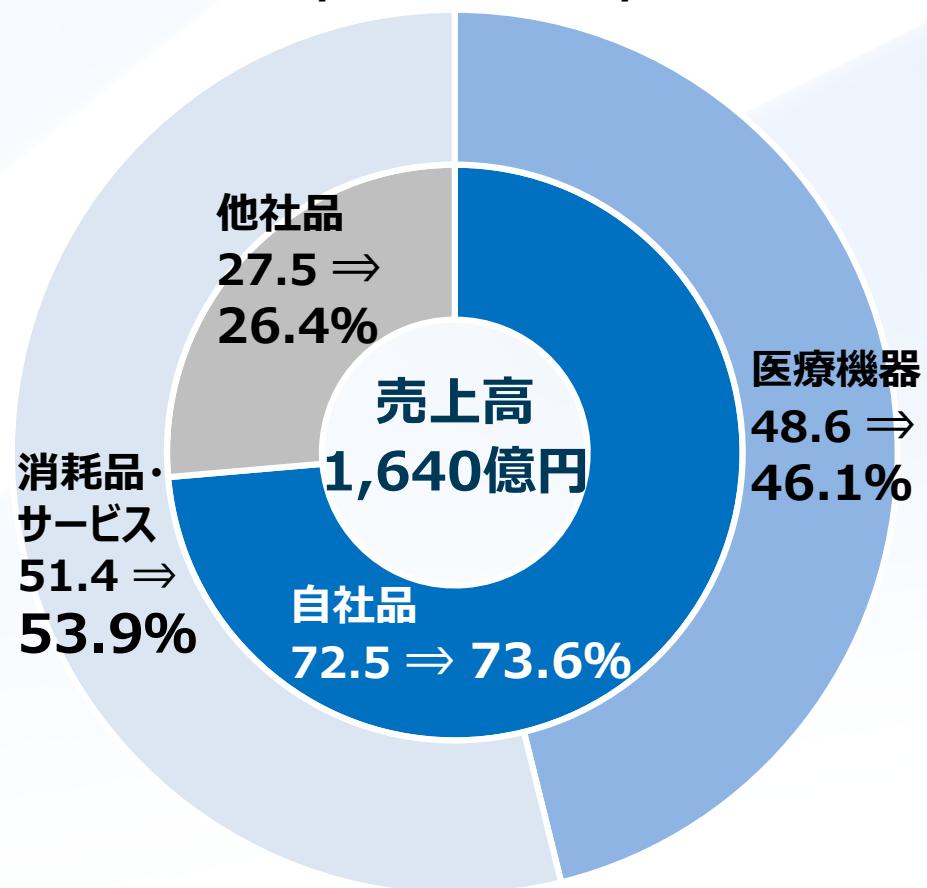
	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計	増減率 (%)
生体計測機器	32,953 (41%)	38,566 (44%)	17.0
生体情報モニタ	60,579 (65%)	57,543 (64%)	-5.0
治療機器	37,538 (44%)	40,001 (44%)	6.6
その他	27,405 (47%)	27,901 (48%)	1.8
売上高合計	158,476 (52%)	164,013 (52%)	3.5

(参考)

医療機器	77,046 (54%)	75,677 (53%)	-1.8
消耗品・サービス	81,430 (50%)	88,336 (51%)	8.5

※ 表の括弧内は、粗利率を示しています。

商品群別売上構成比 (2024/12 ⇒ 2025/12)



[参考] 商品群別売上高の内訳

(単位: 億円、単位未満切捨て)

生体計測機器	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計
脳神経系群	74	116
心電計群	45	44
心臓カテーテル検査装置群	131	141
診断情報システム群	35	37
その他の※	41	47

※その他には、他社製の生体計測機器を含みます。

治療機器	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計
医科向け除細動器	58	60
AED	171	181
ペースメーカー・ICD	18	19
人工呼吸器	64	81
その他の	62	56

生体情報モニタ	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計
生体情報モニタ合計	605	575
うち臨床情報システム群	29	30

その他の	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計
検体検査装置	95	94
画像診断装置他※	178	184

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

6) 財政状態

(単位：百万円)

	前期末 2025/3	当3Q末 2025/12	増減額		前期末 2025/3	当3Q末 2025/12	増減額
流動資産	183,085	170,128	- 12,957	流動負債	72,296	46,717	- 25,579
棚卸資産	56,174	62,033	5,858	有利子負債	26,030	50	- 25,980
有形固定資産	29,270	31,798	2,527	固定負債	4,685	27,511	22,826
無形固定資産	27,653	25,526	- 2,127	有利子負債	—	22,950	22,950
投資その他資産	18,266	19,309	1,042	純資産	181,294	172,534	- 8,760
資産合計	258,276	246,762	- 11,513	負債・純資産合計	258,276	246,762	- 11,513

棚卸資産回転月数 (カ月)	6.2	6.7
------------------	-----	-----

自己資本比率	69.5%	69.9%
--------	-------	-------

【流動資産の減少の理由】

受取手形及び売掛金 △137億円
 棚卸資産 + 58億円
 (PLM/MESシステム※、鶴ヶ島新工場の稼働に備え、
 一時的に製品在庫を積み増し + 43億円)

【流動負債の減少の理由】

有利子負債（短期借入金） △259億円

【固定負債の増加の理由】

有利子負債（長期借入金） + 229億円

※PLM (Product Life-cycle Management) : 製品ライフサイクル管理、MES (Manufacturing Execution System) : 製造実行システム。

7) キヤッショ・フロー

	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計	増減額
I 営業 C F	6,291	12,477	6,185
II 投資 C F	- 23,233	- 6,472	16,760
FCF	- 16,941	6,004	22,945
III 財務 C F	4,585	- 7,038	- 11,624
換算差額	536	1,062	526
増減額	- 11,818	28	11,847
期末残高	38,058	43,089	5,030

(単位：百万円)

税金等調整前四半期純利益	2024/12	2025/12	増減
売上債権の増減額 (増加 : △)	132億円	98億円	△33億円
法人税等の支払額	100億円	154億円	+54億円
△96億円	△75億円	+20億円	
有形固定資産の取得による支出	2024/12	2025/12	増減
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△35億円	△46億円	△11億円
△188億円	—	+188億円	
短期借入金の純増減額 (減少 : △)	2024/12	2025/12	増減
長期借入による収入	252億円	△259億円	△512億円
—	255億円	+255億円	
預け金の増減額 (増加 : △)	2024/12	2025/12	増減
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△76億円	72億円	+149億円
—	△74億円	△74億円	

8) 設備投資と研究開発費

(単位：百万円)

	2025/3 3Q累計	2026/3 3Q累計	増減額	2025/3 実績	2026/3予想 期初	11月10日修正
設備投資	4,984	5,853	868	9,519	9,400	9,400
減価償却費	2,959	3,393	434	4,067	4,900	5,000
研究開発費	4,948	5,271	322	6,826	7,200	7,400

● 2026/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

PLM/MES※システムの導入 設備投資額：約30億円

< 23/3 : 3億円、24/3 : 5億円、25/3 : 9億円
26/3 : 8億円、27/3～ : 5億円

PLMシステム：2025年9月稼働
MESシステム：2025年11月稼働

鶴ヶ島新工場の建設

総投資額：約110億円

< 23/3 : 23億円（土地取得）
～25/3 : 41億円、26/3 : 32億円（建屋・設備等）
27/3～ : 14億円（設備等）

着工：2024年7月
建屋竣工：2025年10月
稼働：2026年3月予定

※PLM (Product Life-cycle Management) : 製品ライフサイクル管理、MES (Manufacturing Execution System) : 製造実行システム。

9) 通期業績見通し

	2025/3 前期実績	期初	2026/3予想 11月10日修正	2月5日修正	増減率 (%)	(単位：百万円)
売 上 高	225,424	240,000	240,000	235,000	4.2	
国 内 売 上 高	145,237	149,800	149,400	144,400	- 0.6	
海 外 売 上 高	80,187	90,200	90,600	90,600	13.0	← ● 為替影響除く：+14% 為替・アドテック社連結の影響除く：+8%
売 上 総 利 益 (売 上 総 利 益 率)	117,157 52.0%	126,000 52.5%	126,100 52.5%	122,100 52.0%	4.2	
販 管 費 (販 管 費 率)	96,444 42.8%	102,000 42.5%	102,100 42.5%	102,100 43.4%	5.9	
営 業 利 益 (営 業 利 益 率)	20,713 9.2%	24,000 10.0%	24,000 10.0%	20,000 8.5%	- 3.4	
経 常 利 益	20,373	24,000	24,000	22,000	8.0	
親会社株主に帰属する当期純利益	14,098	15,000	12,500	12,500	- 11.3	
海 外 売 上 高 比 率	35.6%	37.6%	37.8%	38.6%		
平均レート(円) 1米ドル/1ユーロ	152.4/163.5	140/156	146/167	150/174		

※ 第4四半期の前提為替レートは、154円／米ドル、184円／ユーロです。

10) 通期業績見通し 修正のポイント

通期売上高
(前回予想から
50億円減)

国内売上高
(同50億円減)

海外売上高
(据え置き)

営業利益
(同40億円減)
経常利益
(同20億円減)
純利益
(据え置き)

- 前回予想から50億円下方修正し、前期比8億円減の見通し
 - 病院・診療所向け：想定よりも予算の抑制・延期
前回予想：+41億円 ⇒ 今回予想：+2億円 ($\triangle 39$ 億円)
 - AED：代理店での在庫調整 ※ 前期 63,800台 → 当期 58,100台
前回予想：+1億円 ⇒ 今回予想： $\triangle 10$ 億円 ($\triangle 11$ 億円)
- 4Q：消耗品・サービス事業、年度末に向けたITシステム商談の納品・設置に注力し、前年同期並みの売上確保を目指す
- 北米で生体情報モニタの商談決定プロセスに慎重な動きが見られるほか、アジア州他を中心に法規制対応等に時間を要しているものの、期末に向けて出荷・納品・設置に全社一丸となって注力

- 売上高、粗利率が前回予想を下回る見込みのため、下方修正。
販管費は前回予想を据え置き
- 4Q：增收増益を目指す。自社品販売、全社収益改革に注力し、粗利率52%台の確保、販管費の伸びの抑制に努める

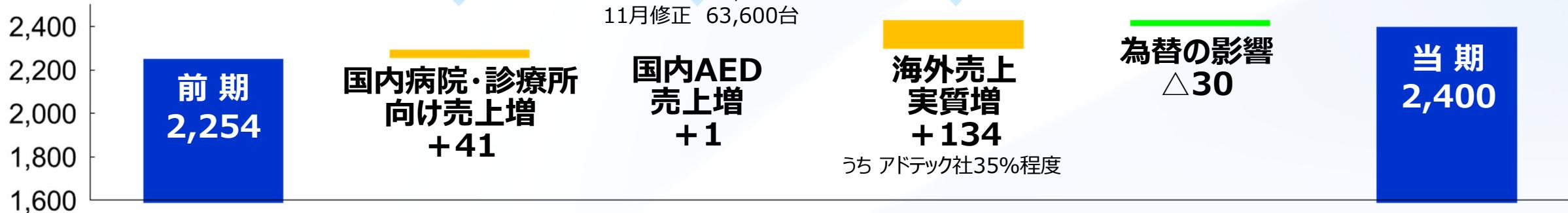
[参考] 売上見通しの要因分析

(単位: 億円)

【期初予想】



【11月修正予想】



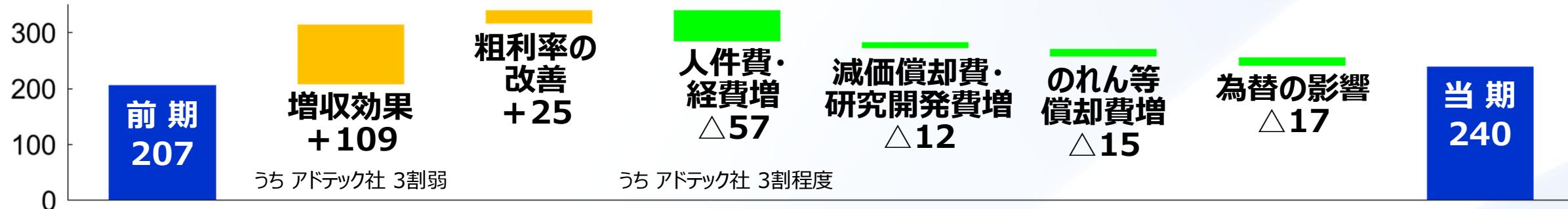
【2月修正予想】



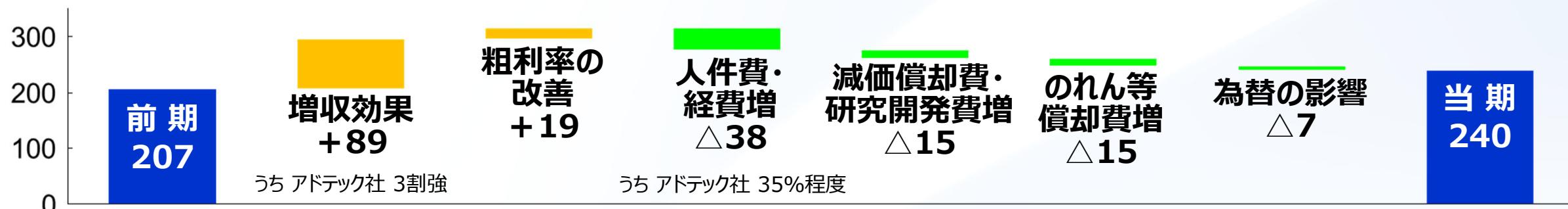
[参考] 営業利益見通しの要因分析

(単位: 億円)

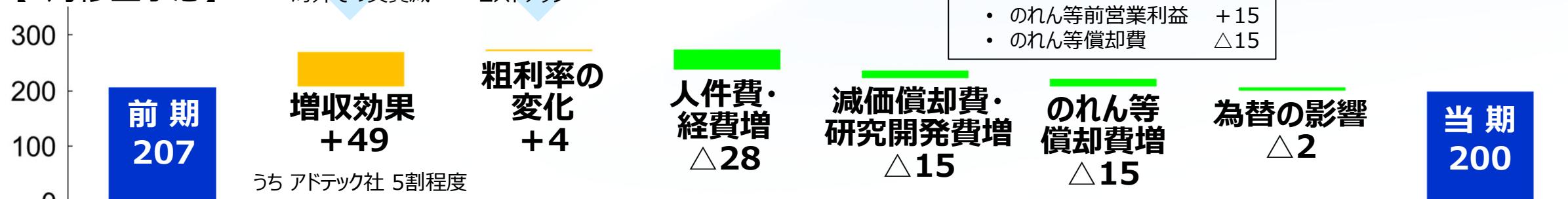
【期初予想】



【11月修正予想】



【2月修正予想】



[参考] 地域別/商品群別売上高見通し/為替の影響

【地域別海外売上高】

(単位: 百万円)

	2025/3 実績	2026/3予想			増減率 (%)
		期初	11月10日修正	2月5日修正	
北米	41,900	47,500	49,500	49,500	18.1
中南米	5,388	5,900	5,700	5,700	5.8
欧洲	12,554	13,400	13,200	13,200	5.1
アジア州他	20,344	23,400	22,200	22,200	9.1
海外計	80,187	90,200	90,600	90,600	13.0

【商品群別売上高】

	2025/3 実績	2026/3予想			構成比 (%)	増減率 (%)
		期初	11月10日修正	2月5日修正		
生体計測機器	46,874	53,200	54,600	54,100	23.0	15.4
生体情報モニタ	84,965	89,000	86,600	85,600	36.4	0.7
治療機器	53,184	56,600	58,100	55,300	23.5	4.0
その他の	40,400	41,200	40,700	40,000	17.1	-1.0
売上高合計	225,424	240,000	240,000	235,000	100.0	4.2

(参考)

医療機器	113,304	120,800	117,600	114,700	48.8	1.2
消耗品・サービス	112,119	119,200	122,400	120,300	51.2	7.3

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	4.2億円	1.1億円
ユーロ	0.6億円	0.2億円

中長期的な企業価値の向上に向けて

中期経営計画 3つの指標・6つの重要施策



全社収益改革を実行することで、成長領域への投資を本格化し、
グローバルメドテック企業への変革を加速

①成長性

売上高CAGR
(24/3-27/3期)

5%

製品競争力
の強化

北米事業の成長
に注力

②収益性

営業利益率 (27/3期)

15%

全社収益改革
の実行

グローバルサプライチェーン
の進化

③資本効率性

ROE (27/3期)

12%

日本光電版ROIC
の導入

キャッシュ・コンバージョン・
サイクルの短縮

サステナビリティ経営の実践

医療課題

環境課題

社会課題

成長性

国内事業の安定成長に注力

市場成長率
1~2%程度

Phase II 目標
売上高CAGR 3%

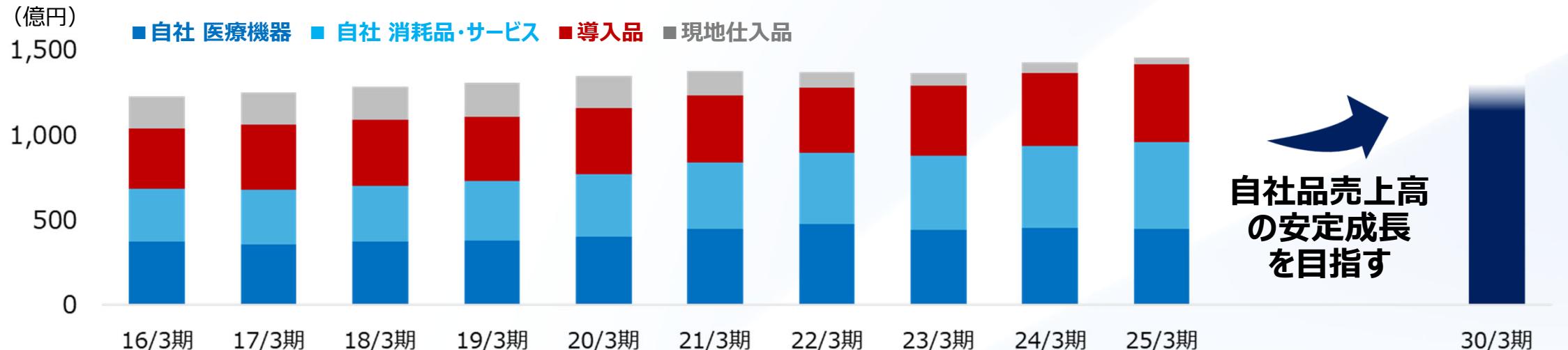
16/3期-25/3期
10ヵ年売上高CAGR
+ 1.8%

自社品 + 3.5%

医療機器 + 1.8%、消耗品・サービス + 5.3%
(消耗品・サービス比率 25/3期 54%)

**導入品
+ 2.5%**

**現地仕入品
△ 14%**



医療機器

- 更新需要を着実に獲得し、高い市場シェアを維持・向上

消耗品・サービス

- 純正消耗品の訴求、保守サービスの拡充により、CX*向上、医療安全に貢献



ITS + DHS

- 医療DX*の推進、医療の質・医療経済性の向上に貢献
- ドゥウェル社を連結子会社化予定 (26/2末)

【アボット製品の業務引継ぎ】25/12末までに15%程度完了、26/3末までに65%程度完了予定

成長性

北米事業の高い成長に注力

市場成長率
1桁半ば

Phase II 目標
売上高CAGR 11%

16/3期-25/3期
10ヵ年売上高CAGR
+ 10%

治療機器
+ 13%

生体情報モニタ
+ 10%

生体計測機器※
+ 3%

(億円)

■生体計測機器 ■生体情報モニタ ■治療機器 ■その他

※26/3期～アドテック社連結。

600

300

0

16/3期 17/3期 18/3期 19/3期 20/3期 21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期 30/3期

北米で高い
売上成長の持続
を目指す

生体計測機器

- 高い市場シェアを有する脳神経機器・アドテック社のシナジー創出
- 在宅睡眠記録装置の需要増



人工呼吸器

- 大手IDN/GPO※1からの新規契約獲得
- 市場シェアを拡大



生体情報モニタ

- DHS※2製品による差別化提案を強化し、市場シェアを拡大
- 人工呼吸器採用施設への導入提案

収益性：アドテック社を除く既存事業においても黒字化の見込み

※1 IDN (Integrated Delivery Network) : 総合医療ネットワーク、GPO (Group Purchase Organization) : グループ購買組織。※2 DHS : デジタルヘルスソリューション。

27/3期 営業利益率改善
目標 5%pt

- ✓ 25/3期 : 0.8%pt ⇒ 26/3期 : 2.5%pt (前期比 +1.7%pt)
- ✓ 5%pt改善に向けた施策の積み上げは完了、7割程度の効果発現の見込み、引き続き3つの領域における施策展開を加速

人員生産性の向上

各国許認可申請にかかる技術文書の翻訳業務を効率化

- ✓ 生成AI翻訳ツール等を自社開発、業務フローを刷新



国際物流業務を効率化

- ✓ 貿易業務クラウドサービスを導入し、物流を可視化



経費の削減

国内事業所を移転・統廃合

- 所沢事業所
- 国内拠点
(販売・物流)



ITコストの削減

- サーバ・通信キャリア契約の最適化
- 社内ITシステム開発費用の抑制
- クラウド利用料の見直し



資本政策の方針

健全な財務基盤を確保した上で、将来の企業成長に向けて投資、株主還元を充実

①将来の企業成長に向けた投資

Phase II :
研究開発投資 235億円程度
設備投資 250億円程度
成長投資・M&A 300億円以上

- ・生体情報モニタ、人工呼吸器、デジタルヘルスソリューションに積極投資
- ・鶴ヶ島新工場の建設、PLM/MESシステムや生成AIなどコーポレートDXの推進、グローバルサプライチェーンマネジメントの進化のために設備投資
- ・アドテック社を完全子会社化、ドゥウェル社を連結子会社化予定(26/2末)

研究開発



設備投資



成長投資
M&A



人財育成



②株主還元の充実

Phase II :
280億円以上

※投資計画の進捗によっては
追加の株主還元も検討

配当

業績の伸長に応じ、安定的な増配

年間配当金（予想）
26/3期 32円
(連結配当性向：41.8%)

自己株式
取得

今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、
株価の推移等を総合的に考慮し、機動的に実施

自己株式取得：
50億円 (~26/3末)
うち 11億円 (~25/12末)

目標：連結総還元性向 **35% 以上**

自己株式保有：
857万株 (25/12末: 5.0%)
従業員株式給付信託の保有株式含む

③健全な財務基盤

医療機器の安定供給体制を確保するため、強固な財務基盤を維持

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。

同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知ください。

また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】経営戦略統括部

【連絡先】TEL 03-5996-8003